

中期計画評価指標

中期目標		中期目標に対する評価指標								
	大学の教育研究等の質の向上に関する目標	1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置							
(1)	教育に関する目標	(1)	教育に関する目標を達成するための措置							
	ア 学部教育に関する目標		ア 学部教育に関する目標を達成するための措置							
	①工学の各分野に対する高い関心と基礎的な学力を持ち、将来国内外の社会において活躍したいと考える向上心のある学生を受け入れる。あわせて、社会人にも門戸を開き、働きながら学ぶ意欲のある学生を積極的に受け入れる。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標</th> <th style="width: 30%;">現状値</th> <th style="width: 40%;">達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部の入学定員充足率</td> <td>100%</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	学部の入学定員充足率	100%	100%以上
指標	現状値	達成目標								
学部の入学定員充足率	100%	100%以上								
	②学部の基礎教育においては、幅広い教養を養い、豊かな人間性を育む。									
	③学部の専門教育においては、技術革新や価値観の多様化等の社会環境の変化に柔軟かつ的確に対応できる能力を培い、卒業後、市内産業分野をはじめとして社会の様々な分野で専門技術者として指導的役割を担うことができる人材を育成する。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標</th> <th style="width: 30%;">現状値</th> <th style="width: 40%;">達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部の学生の標準修業年限内卒業率</td> <td>73.3% (H22～H23年度平均)</td> <td>80%以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	学部の学生の標準修業年限内卒業率	73.3% (H22～H23年度平均)	80%以上 (中期目標期間平均)
指標	現状値	達成目標								
学部の学生の標準修業年限内卒業率	73.3% (H22～H23年度平均)	80%以上 (中期目標期間平均)								
	④学生の効果的な学習活動を支援するため、全ての学科において入学時から卒業までのカリキュラムの明確な体系化を行い、教育の質の向上を図る。									
	⑤学生の基礎的能力を強化することを目的に、初年次教育科目及び基礎教育科目の充実を行い、これを担う「基礎教育センター」の体制を強化する。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標</th> <th style="width: 30%;">現状値</th> <th style="width: 40%;">達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カレッジTOEICの受験者数</td> <td>60人 (平成24年度)</td> <td>80人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	カレッジTOEICの受験者数	60人 (平成24年度)	80人以上 (中期目標期間平均)
指標	現状値	達成目標								
カレッジTOEICの受験者数	60人 (平成24年度)	80人以上 (中期目標期間平均)								
	⑥学生の卒業後の進路を考慮し、キャリア支援教育を重視したカリキュラムを編成して実施するとともに、学生の就職に係る相談及び支援の体制を強化する。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標</th> <th style="width: 30%;">現状値</th> <th style="width: 40%;">達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部の学生の就職率</td> <td>91.9% (H21～H23年度平均)</td> <td>95%以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	学部の学生の就職率	91.9% (H21～H23年度平均)	95%以上 (中期目標期間平均)
指標	現状値	達成目標								
学部の学生の就職率	91.9% (H21～H23年度平均)	95%以上 (中期目標期間平均)								
	イ 大学院教育に関する目標		イ 大学院教育に関する目標を達成するための措置							
	①独創的な発想力と、研究に対する実行力を持ち、専門分野を極めたいという意欲のある人材を受け入れる。									

中期目標	中期目標に対する評価指標												
<p>②博士前期課程では、学部教育で培われた教養と専門の基礎能力を、講義や演習等により向上させるとともに、研究に関する能力を養成し、高い専門性を身に付けた高度専門技術者及び研究者を育てる。</p> <p>③博士後期課程では、専門の能力を一層深めるとともに、先駆的・先端的な技術課題に率先して取り組む能力を高め、豊かな創造性と主体性を備えた高度専門技術者及び研究者を育てる。</p> <p>④大学院の教育においては、社会及び経済の動向並びに時代の要請に対応して学部と大学院の入学時からの一貫した教育システムを構築する。</p>	<table border="1" data-bbox="719 217 1407 327"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博士前期課程における卒業生の平均在学年数</td> <td>2.1年 (H22～H23年度平均)</td> <td>2.1年以内 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="719 360 1407 470"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博士学位取得者(年間)</td> <td>1.7人 (H15～H23年度平均)</td> <td>3.0人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	博士前期課程における卒業生の平均在学年数	2.1年 (H22～H23年度平均)	2.1年以内 (中期目標期間平均)	指標	現状値	達成目標	博士学位取得者(年間)	1.7人 (H15～H23年度平均)	3.0人以上 (中期目標期間平均)
指標	現状値	達成目標											
博士前期課程における卒業生の平均在学年数	2.1年 (H22～H23年度平均)	2.1年以内 (中期目標期間平均)											
指標	現状値	達成目標											
博士学位取得者(年間)	1.7人 (H15～H23年度平均)	3.0人以上 (中期目標期間平均)											
(2) 研究に関する目標	(2) 研究に関する目標を達成するための措置												
<p>①基礎から応用に至る幅広い研究を展開し、その成果を社会に還元することにより、持続可能な社会の発展に貢献する。</p>													
<p>②従来の分野別や個別の研究のみにとどまらず、学内共同研究の促進を図る。</p>	<table border="1" data-bbox="719 896 1407 1005"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分野横断型工学研究シンポジウムの参加人数</td> <td>—</td> <td>150人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	分野横断型工学研究シンポジウムの参加人数	—	150人以上 (中期目標期間平均)						
指標	現状値	達成目標											
分野横断型工学研究シンポジウムの参加人数	—	150人以上 (中期目標期間平均)											
<p>③各種研究の成果等の情報を集積し、それを積極的に学外に発信する。</p>	<table border="1" data-bbox="719 1075 1407 1184"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学術団体論文誌等への論文の掲載数(年間)</td> <td>72件 (平成23年度)</td> <td>85件以上 (平成30年度)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	学術団体論文誌等への論文の掲載数(年間)	72件 (平成23年度)	85件以上 (平成30年度)						
指標	現状値	達成目標											
学術団体論文誌等への論文の掲載数(年間)	72件 (平成23年度)	85件以上 (平成30年度)											
<p>④産官学連携による学内外との組織的研究を積極的に実施する。</p>													
<p>⑤研究活動の向上を目指し、科学研究費補助金等の競争的資金の獲得拡充を図る。</p>	<table border="1" data-bbox="719 1433 1407 1579"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科学研究費補助金の採択件数(年間。新規・継続・分担を含む。)</td> <td>21件 (平成24年度)</td> <td>30件以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	科学研究費補助金の採択件数(年間。新規・継続・分担を含む。)	21件 (平成24年度)	30件以上 (中期目標期間平均)						
指標	現状値	達成目標											
科学研究費補助金の採択件数(年間。新規・継続・分担を含む。)	21件 (平成24年度)	30件以上 (中期目標期間平均)											
(3) 地域貢献に関する目標	(3) 地域貢献に関する目標を達成するための措置												
<p>①地域の教育機関、周辺大学、産官学の連携を通して、地域社会への貢献を果たし、地域の活性化を図る。</p>	<table border="1" data-bbox="719 1684 1407 1830"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連携による公開講座の参加者数(年間)</td> <td>535人 (平成23年度8件分)</td> <td>550人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	連携による公開講座の参加者数(年間)	535人 (平成23年度8件分)	550人以上 (中期目標期間平均)						
指標	現状値	達成目標											
連携による公開講座の参加者数(年間)	535人 (平成23年度8件分)	550人以上 (中期目標期間平均)											
<p>②地域のシンクタンクとして「地域連携推進センター」の役割を高める。</p>	<table border="1" data-bbox="719 1904 1407 2049"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>官公庁における委員・評議員等の数(のべ人数)</td> <td>72人 (H19～H23年度平均)</td> <td>75人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	官公庁における委員・評議員等の数(のべ人数)	72人 (H19～H23年度平均)	75人以上 (中期目標期間平均)						
指標	現状値	達成目標											
官公庁における委員・評議員等の数(のべ人数)	72人 (H19～H23年度平均)	75人以上 (中期目標期間平均)											

中期目標		中期目標に対する評価指標								
	③地方自治体等が行う各種事業に、大学として積極的に参加することにより、学生の地域貢献に関する意欲を喚起する。									
(4)	国際交流に関する目標	(4)	国際交流に関する目標を達成するための措置							
	①研究と教育における多様な価値観を共有し、国際的な貢献を果たすため、世界各国の大学、研究機関等との教員相互の連携と交流をさらに深めていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員の海外研修(国際学会への参加を含む。)参加者数(年間)</td> <td>34.3人 (H22～H24年度平均)</td> <td>40人以上 (中期目標期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	教員の海外研修(国際学会への参加を含む。)参加者数(年間)	34.3人 (H22～H24年度平均)	40人以上 (中期目標期間平均)
指標	現状値	達成目標								
教員の海外研修(国際学会への参加を含む。)参加者数(年間)	34.3人 (H22～H24年度平均)	40人以上 (中期目標期間平均)								
	②国際交流のさらなる活性化のために、従来から実施してきた中国からの留学生の受け入れを継続的に行うとともに、他のアジア諸国からの留学生も積極的に受け入れる。									
	③異文化との交流を通じて国際感覚やコミュニケーション能力の向上を図るため、学生を積極的に海外の大学や研究機関等に派遣する。									
(5)	教員の資質向上に関する目標	(5)	教員の資質向上に関する目標を達成するための措置							
	①教員が高い意識を持って、教育や研究だけでなく地域貢献にも積極的に取り組む体制を構築する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本学教員の高校生への支援事業実施件数(年間)</td> <td>5件 (平成24年度)</td> <td>10件以上 (平成30年度)</td> </tr> </tbody> </table>		指標	現状値	達成目標	本学教員の高校生への支援事業実施件数(年間)	5件 (平成24年度)	10件以上 (平成30年度)
指標	現状値	達成目標								
本学教員の高校生への支援事業実施件数(年間)	5件 (平成24年度)	10件以上 (平成30年度)								
	②教員の採用については、公募制の厳正な運用により、大学にとって有用な人材の確保及び育成を図る。									
	③教員の教育力の向上を目的とした研修等の取組を、組織をあげて積極的に行う。									
	④教員の人事評価制度については、研究の成果や実績だけでなく、教育や地域貢献活動における業績等の幅広い活動実績を総合的に評価できる制度を新たに構築する。									
	業務運営の改善及び効率化に関する目標	2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置							
	①法人の経営及び運営の責任者である理事長と、大学の教育研究の責任者である学長がそれぞれのリーダーシップを発揮し、法人の円滑な経営と大学の教育研究の発展に努める。									

中期目標	中期目標に対する評価指標							
②教職員一人一人が、組織における役割を理解し、業務運営の改善及び効率化に向けて取り組む。								
③簡素で効率的な業務運営が図れる組織体制を構築するとともに、意思決定過程を明確化し、より開かれた組織運営を目指す。								
④教育・研究上の基本組織は、社会情勢の変化や時代のニーズに柔軟に対応するため、必要に応じて改組及び改編を検討する。								
⑤教職員数について、中長期的な視点で人員計画を策定し、業務運営を的確かつ効率的に行うために必要な体制を整える。								
財務内容の改善に関する目標	3	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置						
①財務情報の公開等により、財務内容の透明化及び効率的な経営を図り、法人としての経営基盤を強化する。								
②自主的かつ自律的な大学運営を行うため、外部資金及び競争的資金の積極的な導入を図り、大学運営に必要な財源の確保に努める。		<table border="1" data-bbox="719 1151 1407 1296"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部資金(受託研究費+科学研究費を除く競争的 外部資金+共同研究費) の金額(年額)</td> <td>8,900千円 (H17~H23年度平均)</td> <td>18,000千円以上 (中期計画期間平均)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値	達成目標	外部資金(受託研究費+科学研究費を除く競争的 外部資金+共同研究費) の金額(年額)	8,900千円 (H17~H23年度平均)	18,000千円以上 (中期計画期間平均)
指標	現状値	達成目標						
外部資金(受託研究費+科学研究費を除く競争的 外部資金+共同研究費) の金額(年額)	8,900千円 (H17~H23年度平均)	18,000千円以上 (中期計画期間平均)						
③大学の管理運営業務の効率化や、人員配置の適正化等により、管理的経費の抑制を図る。								
自己点検・評価及び情報公開に関する目標	4	自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置						
①自己点検・評価の実施に加え、第三者評価を定期的を受け、これらの評価結果を公表するとともに、評価結果を踏まえ、大学運営の改善に取り組む。								
②市民や地域社会に対する説明責任を果たすため、大学の研究成果や社会活動状況をはじめ、法人の組織及び運営等の各種情報を積極的に公開する。								

中期目標		中期目標に対する評価指標											
その他業務運営に関する重要な目標	5	その他業務運営に関する重要な目標を達成するための措置											
①教育研究成果や社会活動状況等を積極的に発信し、大学のブランド力を強化する。													
②工学研究科の入学者を確保するとともに質を向上させ、大学院における教育及び研究を充実させる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状値</th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博士前期課程の入学定員充足率</td> <td>78.1% (H23～H24年度平均)</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程の入学定員充足率</td> <td>25.0% (H23～H24年度平均)</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table>			指標	現状値	達成目標	博士前期課程の入学定員充足率	78.1% (H23～H24年度平均)	100%以上	博士後期課程の入学定員充足率	25.0% (H23～H24年度平均)	100%以上
指標	現状値	達成目標											
博士前期課程の入学定員充足率	78.1% (H23～H24年度平均)	100%以上											
博士後期課程の入学定員充足率	25.0% (H23～H24年度平均)	100%以上											
③学生の安全確保のため、施設の維持管理を適切に行うとともに、災害発生時や大学の知的財産流出等のおそれが生じた際の危機管理体制を確立し、迅速かつ的確な対応が統一に行える体制を整える。													
④大学の施設及び設備については、学生の学ぶ環境を向上させるため、老朽化等に対応した改修や整備を行う。													
⑤大学におけるコンプライアンス(法令遵守)を推進し、不祥事や事故の防止に努める。													
⑥大学として社会的な責任を果たすため、人権の尊重や男女共同参画の推進に取り組む。													
⑦環境を守ることを大学の責務として、環境に配慮した大学の維持管理を行い、環境保全に努める。													